

# SSKW

# 海から海へ

No. 46 2019. 9. 25 【編集人】

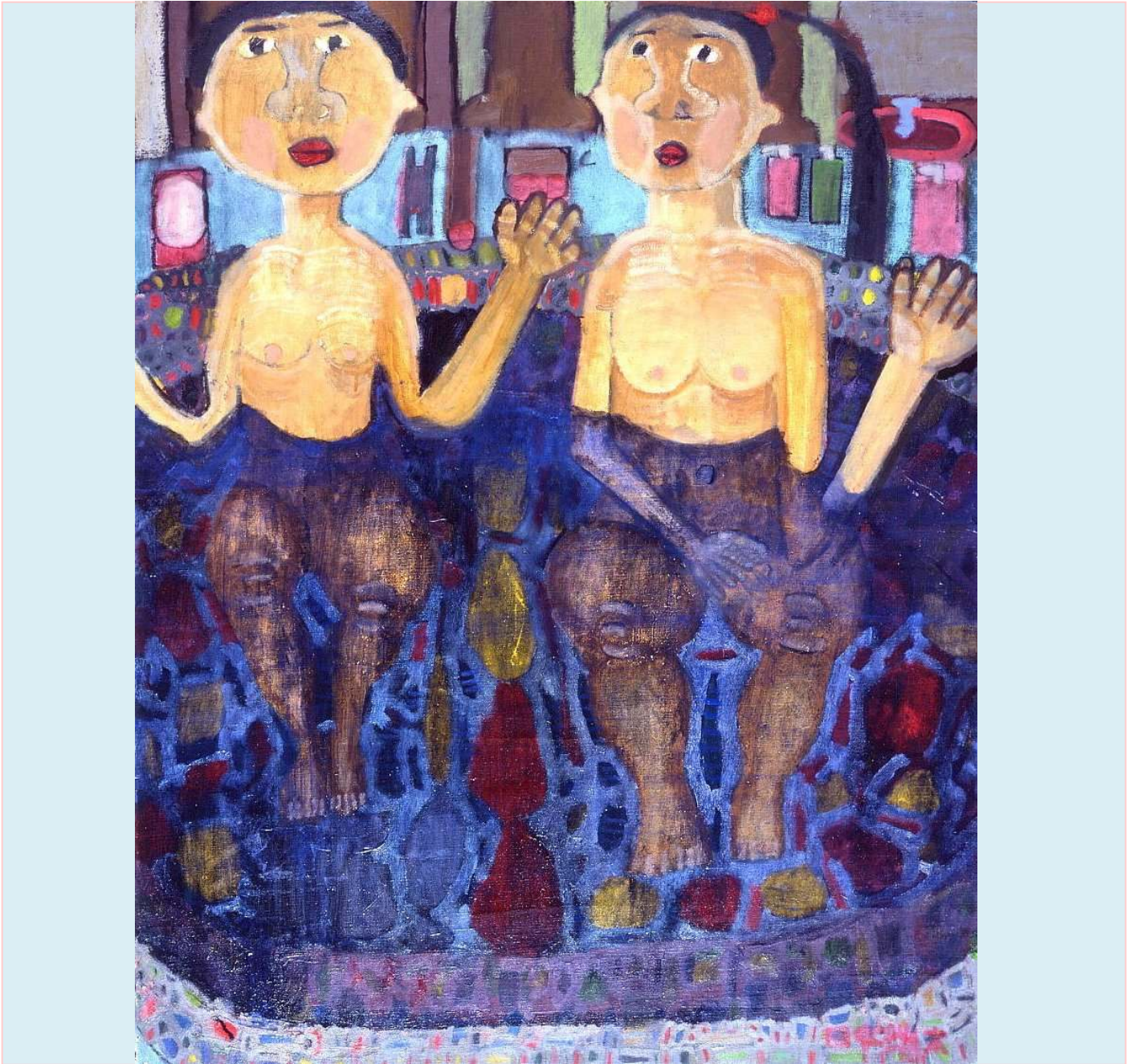
特定非営利活動法人 海から海へ

〒182-0024 東京都調布市布田1-32-5

マートルコート調布407

Tel 042-441-2958 Fax 042-497-4878

<http://umi.or.jp> [office@umi.or.jp](mailto:office@umi.or.jp)



温泉 910x727 2000 © Mizuki Tanaka

海から海へは、障がいをもつ人から渡される豊富なものの存在に気づき、人々と共有するため、障がいをもつ人を中心とした、文化芸術活動、研究活動、社会教育活動、心理カウンセリングなどの支援活動を行うこと、および、それらの活動を通し、障がいの有無にかかわらず、地域・国内・国外を問わず広く交流を深め、人々がより良く生きることに貢献することを目的として活動しています。

## 魂の贈り物 PartⅢ—田中瑞木展

2019年10月1日(火)～2019年10月31日(木)

杏林大学医学部付属病院

ギャラリー・アールスペース

9:30～17:00 休館 日曜・祝日 入場無料

東京都三鷹市新川6-20-2 ☎0422-47-5511

空には翳雲、風は涼しく、コスモスが咲いています。自然はすっかり秋色に変化しています。季節の移ろいをうれしく思う今日このごろです。

さて、来たる10月1日より31日まで、杏林大学医学部付属病院ギャラリーで、2015年、2017年に続いて3回目の個展開催することとなりました。出品は以下の作品を予定しています。未公開の絵もありますので、この機会に是非ご高覧いただければ幸いです。

サボテンとリンゴ

おひなさま

おばあちゃんと海到くん

ピエロ

着物を着た由紀ちゃん

泰三くんと紘子ちゃん

蝶とカーネーション

もみじ山の猫

花とレモン

秋のサファリパーク

秋のサファリパーク (スケッチ)

バーベキュー

くじらといか

わたしの好きなもの

おひめさま

ともだち

フロイトの家の前で

マーマレードになるよ (スケッチ)

八ヶ岳のキャンプファイアー

風に揺れて縞ススキ

チューリップがいいね

蝶の空

花の絵を描くわたし

(都合により、内容が変わる場合があります。)

画家の活動が緩慢になるに連れ、個展開催が少なくなっております。それでも、絵を観たいとのご希望がある限り、全国各地で開催していく予定です。

皆様のどなたでも、田中瑞木の絵画展を企画していただければ、開催に向けて当法人が動き出すことができます。

「どこでも良いのでしょうか?」「運搬費などの費用はどれくらいかかるのでしょうか?」「場所はどのようなところがふさわしいのでしょうか?」「画家本人は来てくれますか?」など、ご質問には以下のようにお答えしています。

- ・場所は、予算の許す限り、大丈夫です。現在、100万円ほどの資金があります。その範囲であればということです。海外は難しいかもしれませんが、沖縄県や北海道は可能と思います。
- ・運搬費などの費用は、全て当法人が支払います。
- ・場所は、ある程度の広さと壁面があれば、どのような場所でも可能です。ただし、大量の湿気がある場所では作品の劣化が心配です。難しいと思います。
- ・今まで画家はどのような場所でも足を運んできました。皆様のお考えがありましたら、ご連絡ください。お返事いたします。

### 【過去の個展開催地】

東京都調布市、東京都港区、茨城県石岡市、富山県黒部市新潟県長岡市、兵庫県神戸市、新潟県南魚沼市、長野県南牧村、静岡県静岡市、東京都三鷹市ほか。

NHK第2回世界ハート展(全国およびアメリカ、イギリス他)、東京都青梅市、栃木県那須郡那珂川町などのグループ展にも招待出品。



クレマチスの丘にて (静岡県長泉町)





クレマチスの丘にて (静岡県長泉町)



サルビア珈琲店にて (千葉県南房総市)



母の故郷にて (新潟県長岡市)

### 編集後記

この1年6ヶ月の間、皆様はいかがお過ごしだったでしょうか。画家は46歳になりました。「光陰矢の如し」の感があります。絵を描かなくなり7年が経ち、少しずつ変化が訪れていました。が、周囲の人間が上手にキャッチできなかったため、画家は苦しい思いをしながら生活をしてきたのではないかと最近考えることがあります。普段私たちはあまりにも日常が同じように続くことに流されてはいないでしょうか。娘が働くことについて、私は社会の仕組みの中に混じって就労したいという思いを受け止めました。その気持ちを満たして日々を生きるという視点は重要でしたが、時と共に変化する状況を的確に把握し、判断し、対応するということがうまくできていなかったと今、私は反省しています。このことについてはまたご報告をしたいと考えています。ここ数日、画家が新たな歩みを始めようとして笑顔を見せていることに癒やされ、希望を抱きながら、これからも一緒に考え試行錯誤をしながら、歩み続けていこうと気持ちを新たにしています。改めて画家の世界に分け入ってみれば、画家の声聴こえてくるかもしれません。25回目の個展がはじまります。(愛)

### 平成30年度会計報告

(単位：円)

I 経常収入の部	
1. 会費収入	0
2. 寄付金収入	30,000
3. 受取利息	3
経常収入合計	30,003
II 経常支出の部	
1. 事業費	
(1) 障がいをもつ人を中心とした芸術活動の支援と作品の公開展示	0
(2) 障がいをもつ人を中心とした心理教育社会福祉研究と実践	0
(3) 障がいをもつ人を中心とした交流の促進	0
(4) 芸術、教育、心理、福祉などに関する社会教育	0
(5) 障がいをもつ人とその関係者のための個別相談、教育支援、生活支援	0
(6) 活動に関する広報および成果の公表	63,934
2. 管理費	1,348
経常支出合計	65,282
経常収支	△35,279
前期繰越	1,056,325
次期繰越	1,021,046

(令和元年度総会(5月26日開催)で承認されました。)

特定非営利活動法人 海から海へ  
<http://umi.or.jp> office@umi.or.jp  
 振込口座 ゆうちょ振替：00110-0-684539  
 みずほ銀行 調布支店 普通預金 8082621  
 2019年9月25日 海から海へ No. 46  
 編集責任者 阿部公輝  
 〒182-0024 東京都調布市布田 1-32-5 マートルコート調布 407  
 Tel 042-441-2958 Fax 042-497-4878  
 発行所 〒157-0073 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 ヴェルドゥー  
 ーラ 102 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会  
 定価 200円 無断転載禁止

## 魂の贈り物 PartⅢ-田中瑞木展

第25回田中瑞木展を開催いたします。

田中瑞木は脳器質に障がいをもって生まれました。幼い頃から絵を描くことに興味を覚え、小学校時代には帰宅後すぐに画用紙にむかい、一日に100枚描くときもありました。小学6年生で油絵を学び、28年間制作に励みました。はじめの1枚から、最後の75点まで、明るい作風、天性の構成力、愛情あふれる対象が画風となっています。

田中瑞木の絵の前に佇むとき、人は静かな対話をはじめます。対話は実は自分と向き合うこと。

いままでに、「温かさを感じた」「元気が出了」「心が癒された」「励ましをもらった」等の感想をたくさんいただきました。そのことばの一つ一つから、絵は励ましをもたらし、他の世界への広がりや繋がりも生まれ、さらに、人はそれぞれ大切な存在であり、人と人が共に生きることの大切さにも気づかされたことが伝わってきました。

会場は田中瑞木美術館のある調布市の隣、三鷹市の杏林大学医学部付属病院のギャラリー・アートスペースです。病院内にギャラリーを設立した目的は、「患者さんやご家族、病院来院者及び職員の心の癒し、励み、力になっていただけること」だそうです。期間中、田中瑞木の作品が多くの方々に、描く魂と観る魂の触れ合いをもたらし、それぞれの方々の癒やし、励み、力になっていただけたらと願っています。

折しも芸術の秋ですね。この機会にぜひご覧いただけましたら幸いです。

### 田中瑞木美術館

調布市布田 1-32-5-407 042-441-2958

<http://umi.or.jp>



### 田中瑞木 (たなか みずき) 略歴

- 1973・東京に生まれる 12歳より油絵を始める
- 1991・東京都立府中朝日特別支援学校高等部卒業
- 1990・全国学校秀作美術展にて日本美術教育連合賞受賞
- 1995・東京赤坂草月ギャラリーにて第3回個展
- 1996・第11回障害者総合美術展にて最優秀賞受賞
- 1998・調布市文化会館にて第5回個展
- 1999・富山県黒部市国際文化センターにて第7回個展
- 2000・新潟県長岡市美術センターにて第8回個展
- 2001・作品「ねこの原っぱ」、小学校教科書図画工作に掲載  
・NHK第2回世界ハート展招待出品
- 2006・神戸市立王子市民ギャラリーにて第13回個展
- 2007・田中瑞木美術館オープン
- 2009・長野県野辺山「南牧村美術民族資料館」にて第15回個展
- 2010・栃木県那須郡那珂川町「もうひとつの美術館」に招待出品
- 2012・静岡県静岡市清水区「えじり保育園」にて第16回個展  
・日本描画テスト・描画療法学会にて第17回個展  
・東京下北沢 Com. Cafe 音倉にて第18回個展
- 2013・新潟県南魚沼市「工房とんとん」にて第19回個展
- 2014・神戸市中央区「みなとのこども診療所」にて第20回個展
- 2015・東京都三鷹市杏林大学医学部付属病院にて第21回個展
- 2016・東京都調布市「フロリール調布」にて第22回個展
- 2017・東京都三鷹市杏林大学医学部付属病院にて第23回個展
- 2018・東京都調布市「フロリール調布」にて第24回個展



バス「杏林大学病院前」下車

- ・JR中央線 三鷹駅南口から約20分(小田急バス)
- ・JR中央線・京王井の頭線 吉祥寺駅南口から約20分(小田急バス)
- ・京王線 仙川駅から約15分(小田急バス)
- ・京王線 調布駅北口から約25分(小田急・京王バス)
- ・京王井の頭線 三鷹台駅から約15分(みたかシティバス)
- ・京王線 つつじヶ丘駅北口から約25分(みたかシティバス)